



シルバー人材センターシンボルマーク

このマークは、全国のシルバー人材センターで働く高齢者が広く連携し、共に働き、共に助け合っていくことをめざして作成したものです。

デザインは、シルバー（Silver）の「S」とセンター（Center）の「C」で飛翔する鳥と、動き出す人の姿を表現しています。



第59号
 令和元年 8月1日
 発行
 公益社団法人
 安曇野シルバー人材センター
 住所
 安曇野市豊科 4155-1
 TEL 0263-72-5800
 FAX 0263-73-6484



9月28日まで楽しめる「田んぼアート」 於：安曇野スイス村

理事長挨拶

理事長 佐々木 胤明



会員の皆様には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

5月23日に開催されました令和元年度の定時総会では、多くの会員の皆様の参加によ

り、センターの事業に貢献した功労者表彰と諸議案を議決承認していただきましたことに感謝申し上げます。

全国的には深刻な人手不足が進む中、シルバー人材センターも会員不足、適正就業等厳しい状況にあります。会員一人ひとりが知恵を出し協力し合うことで難局を乗り越えたいと思います。

また、今年度も安全・適正就業の深度化を図り、「安全は全てに優先する」を合言葉にみんなで取り組み、地域の皆様の信頼を得るよう努めてまいります。

今後とも行政をはじめ、地域の皆様のご支援とご協力をお願いし、会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ挨拶とさせていただきます。

令和元年度 定時総会開催される

当センターの令和元年度定時総会が、5月23日、豊科ふれあいホールで開催されました。総会には、会員124人が出席し、本年度の事業計画や予算、昨年度の事業報告、収支決算を審議し、承認されました。また、理事2名の役員改選が行われ全員一致で承認されました。

そして、長年会員として、積極的に活動され、シルバー事業発展のため、ご尽力いただいた33人が表彰されました。

平成30年度事業報告では、会員数が前年度と比較し1人減の893人、契約金額は、対前年比98.6



理事長あいさつ

%の5億8741万円となりました。

シルバー派遣事業では、運転業務を中心に就業開拓をし、対前年比2.5倍と実績が上がっています。

最重要課題としていた「安全就業」では、事故件数が10件で、対前年比2件増加で、事故を減少させることができず課題を残しました。

同じく収支決算報告では、各種計算書類や財産目録等について報告され、監事から適正であったとの監査結果が報告されました。

令和元年度事業計画では、会員の願いや地域の期待に添えていくため、常に地域のニーズや多様な高齢者の就業ニーズを的確に捉え、シルバー事業の基本である請負就業に加えて、シルバー派遣の特性を活かし、新たな分野への積極的な就業開拓による職域拡大や会員拡大を推進するほか、安全・適正就業の推進、財政基盤の強化に取り組みすることが確認されました。とりわけ、会員の拡大が重要であり会員一丸となった取り組みが必要です。

総会に合わせて 「マジックショー」開催!



あら不思議、布をめくると人が・・・

定時総会に合わせて、総会開始前に「チョウ不思議・あつとおどろくスマイリー フジの大マジックショー」を開催しました。

会員の皆様に、なかなか見ることのできない大掛かりなマジックを見ていただき、日頃の疲れをとってもらうことができたものと思っております。

観客の協力もいただき、マジックの魅力に驚きや、時には方言丸出しのマジシャンに笑い、楽しいひと時を過ごすことができました。

表彰者一覧 おめでとございます

《会員表彰者》

会員表彰（77歳以上で、過去5年間に100日以上就労し、センターの事業活動に積極的に寄与した者）

氏名	地区名
細田 廣雄	豊科
平林 英幸	豊科
望月 富子	豊科
山田 詔一	豊科
丸山 一郎	豊科
宮沢 靖明	豊科
小川 孝行	豊科
江間 邦男	豊科
石坂 俊子	豊科
望月 増子	穂高
若林 栄一郎	穂高
小沢 善行	穂高
原田 興亜	穂高
望月 末雄	穂高
東山崎 武雄	穂高
望月 静夫	三郷
湯本 征三郎	三郷
手塚 溥修	三郷
川岸 龍平	三郷
萩原 秀彌	三郷
中村 利昭	三郷



表彰された皆様

氏名	赤羽 孝明
役職名	専務理事
地区名	豊科

役員表彰（2期以上にわたり役員として、センター事業の発展に寄与し退任した者）

鳥羽 弘	三郷
那須野 卯久	三郷
奥原 征男	三郷
高橋 八江子	堀金
柴野 公夫	堀金
太田 寛美	明科
嶋崎 紘次	明科
山崎 勝美	明科
岩淵 忠司	明科
沖 国正	明科
遠藤 弘行	明科

《新たに選任された理事》

任期：令和2年の総会まで

役職名	氏名	地区名
専務理事	大向 弘明	三郷
理事	鳥羽 直樹	安曇野市長寿社会課長

令和元年度 事業計画

基本テーマ

- 一、公益社団法人としての確かな運営と財政基盤の確立
- 二、地域の信頼とニーズに応えられる事業の展開
- 三、会員の拡大と就業機会の確保
- 四、国の示した「ガイドライン」に沿った適正就業の徹底
- 五、事故ゼロを目指し安全就業の実践

地区懇談会を開催

当年度の事業経過、次年度の事業計画などの情報交換と事務局と会員との情報交換の場としての地区懇談会が開催されました。

豊科地区	3月5日	50名
穂高地区	3月12日	44名
三郷地区	3月7日	58名
堀金地区	3月6日	37名
明科地区	3月8日	35名

5会場で計224名の会員が参加されました。会員からは配分金の単価が変わっていない、用具の補助もしてもらえないか等意見が出されました。また事務局からは会員が足りない、様々な苦情が寄せられている等の話をさせていただき、有意義な懇談会となりました。



三郷地区懇談会

安曇野玉ねぎ祭りに参加



玉ねぎ祭りに向けての収穫作業

就業機会の拡大を目的に、当センター独自事業として取り組んでいます玉ねぎ栽培の収穫が5月初旬から始まりました。6月15日、第22回になります安曇野玉ねぎ祭りに参加しました。豊科保健センターで直売を行い、市内外、県外からの購入者でにぎわいました。なお、会員には6月20日に販売を行いました。今年玉ねぎは、大きさも品質的にも十分なものとなりました。消費者の皆さんには大変好評で完売となりました。

安全・適正就業委員会だより

安全は
全てに
優先する

6月25日、第1回安全・適正就業委員会が開催され、令和元年度「安全・適正就業対策推進計画」が決定されました。

重点目標を「重篤事故の撲滅、事故件数の減、および健康管理」と決定し、徹底した事故防止に努めます。

は、
なお、具体的な取り組みとして

- 1 安全ミーティングの完全実施
 - 2 安全装備使用の徹底
 - 3 健康診断受診及び健康体操の奨励
 - 4 交通事故防止
- 全会員の目標です。「安全は全てに優先する・けがをしない・させない」を合言葉に就業をお願いします。

事故が減りません

平成30年度、当シルバー人材センターでは、傷害事故6件、交通事故1件、賠償事故3件の合計10件の事故が発生しました。特に、

賠償事故は、草刈り作業中での飛石によって、建物や車を傷つける事故です。飛石による賠償事故は、29年度も2件発生しており、再三注意喚起をしていますが、依然として減少していません。

飛石事故対策を

重点目標に！

ナイロンロープの使用禁止

飛石事故防止のため、当センターでは、刈払機でのナイロンロープの使用を禁止しています。草刈り作業では、絶対使用しないでください。飛石事故防止対策として、①飛石防止ネットの活用 ②車の移動の徹底 ③作業前のミーティングの実施等を再度徹底してください。

なお、飛石防止ネットや「作業中」の看板等は、シルバー事務局に用意してありますので、使用する場合は、事前に連絡をお願いします。

安全就業全国統一スローガン
見逃すな
ヒヤリで済んだ
あの経験

熱中症に注意を！

対策1 日頃から、暑さに負けない体づくりを

- ① 水分をこまめに取りましょう
- ② 塩分をほどよく取りましょう
- ③ 十分な睡眠を取りましょう

対策2 日々の生活の中で、暑さに対する工夫を

- ① 気温と湿度を気にしてください
- ② 着るものを考えてください
- ③ 冷却グッズを活用してください

対策3 炎天下での作業や空調設備のない場所では特に注意して

- ① 飲み物を持ち歩きましよう
- ② 休憩をこまめに取りましよう
- ③ 報道される注意報に耳を傾けましよう

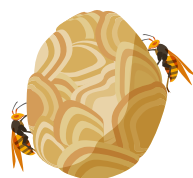


蜂刺されに注意を！

7月から9月の時期の蜂刺されにご注意ください。

- ① 作業現場を確認し、蜂の巣や蜂に近づかないこと
 - ② 蜂を刺激するような黒地の着衣を避けること
- 安全な作業に努めましよう。

蜂取りスプレーは事務局で用意しています。
必要な場合は申しつけください。



交通安全の励行を！

交通事故の死者数は年々減少傾向にある一方、65歳以上の高齢者が占める割合が高くなっています。さらに近年では、事故の被害者だけでなく加害者になるケースも増えていきます。その背景には、高齢者人口の増加だけでなく、高齢者特有の事情も影響しています。高齢になると、動体視力や聴力

の低下、集中力の持続の低下等により、危険の発見が遅れがちになりますので、

車間距離を十分にとつて、安全な速度で慎重に運転することが必要です。

また、運転前には体調を確認し、持病や服薬の状況によつては、運転を控えることも大切です。



平成三〇年度

安全・適正就業標語 最優秀賞

慌てるな

事故とけがは

まったなし

新任職員紹介

専務理事・事務局長 大向 弘明



この度、専務理事・事務局長という大役を担うこととなりました。

大向（おおむかい）と申します。もとよりその器ではありませんが、会員の皆様のご指導により一杯務めて参りたいと思っております。ご協力をお願いします。

まずは、会員の増強が、一番の課題であると思っております。現在、仕事の依頼に全て答えられない状況が有ります。特に、庭木の剪定・草取り・農作業等は、発注者の要望に対して、就業会員数が足りない状況です。この様な状況が続くと、発注者の信頼を失いかねません。発注者の満足度を上げるためにも、まずは、会員の拡大、とりわけ女性会員の増加に努力していきたいと思っております。

当センターの発展に向け、頑張ってお参りますので、皆様のご指導をお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。

業務担当 三澤 良彦



この4月から三郷の業務担当となりました三澤と申します。

早いもので、4ヶ月が経過しようとしています。まだまだ分からないことも多く、発注者の皆様や会員の皆さんに大変ご迷惑をお掛けしていると思っております。

今後、高齢化が進む中、シルバー人材センターへの多種多様な要望が増加することが予想される事から多様な要望に、適切で迅速な対応が必要と思っております。これからは会員の皆さんが明るく健康で働けるよう、またより多くの就業機会を提供できるように努力したいと思っておりますのでよろしくお祈りいたします。



業務担当 竹内 幾久夫



この4月から豊科担当として、お世話になっております竹内と申します。

新しい職場であり、何から手をつけてよいのか全く分からず、右住左住していた毎日でしたが、最近やっと仕事のペースがつかめてきた気がします。

4カ月が過ぎて感じたことは、シルバー人材センターは地域に今やなくてはならないものになっており、その期待は益々大きくなるものと思っております。早く仕事を覚え、会員及び市民の皆さんからの多様なニーズにこたえられるよう従事するとともに、就業の機会を確保できるよう努めてまいります。何かとご迷惑をお掛けすることがあると思いますが、よろしくお祈りいたします。

文芸欄

俳句

和田 照男

雑草に

負けじと涙を

流しけり

草取りや

寺輝きて

玉の涙

須澤 弘

なづなつみ

籠をあふるる

葉のみどり

見守るや

生死をかけし

蝉の羽化

短歌

須澤 弘

すつきりと

草刈り終えし

ゆふくれの

圃場にたてば

出穂の近づく

二〇〇〇万

万緑の

木下に憩ふ

園児らの

声は炎暑を

はねのけてゐる

川柳

湯澤 カ三

現役で

働く気骨

腕さする

二〇〇〇万

ちよつと無理だぞ

畑行く

いつまでも

やる気があり

齢とれぬ

健康の

秘訣は会話

良い仕事

勤労の

汗が葉で

老い忘れ



※会員の皆様の文芸欄への投句をお待ちしています。事務局までお届けください。

事務局だより

配分金及び派遣給与の振込日

- 7月分は8月20日(火)
- 8月分は9月20日(金)
- 9月分は10月18日(金)
- 10月分は11月20日(水)
- 11月分は12月20日(金)
- 12月分は1月20日(月)



就業報告書の提出についてのお願い

就業後速やかに、各地区社会福祉協議会様に設置してあります、シルバーメールボックス又は、事務局へ就業報告書の提出をお願いします。

締め切りまでに提出されませんと、配分金が1ヶ月遅れますのでよろしくお願ひします。

編集後記

◆令和元年度の安曇野シルバー人材センターの定時総会が5月23日、ご来賓の皆様のご臨席を賜り、また多数の会員のご参加のもと盛大に挙行されました。そして永年、当センターに多大なる貢献をされた会員の皆様は、功労者表彰を受賞されました。おめでとうございます。

◆現在の日本の平均寿命は、先進国の中で最も長寿国と言われています。

シルバー人材センターの課題のひとつは、以前は60歳から65歳の方が大きな戦力となっていました。が、会社等の再雇用が65歳過ぎまで延長されたため会員数が減少し、高齢化してきております。

◆今後、一層高齢化社会が進みますが、健康でなければ就業はできません。趣味や娯楽などに積極的に参加され健康な体を保ちましょう。

◆私は、ヨーロッパの国々のようにハッピーリタイアとして年金だけで暮らせるのを夢見ていましたが、日本はそうなりません。みなさん、健康で長生きしましょう。

那須野卯久 北林 幹男
嶋崎 紘次 小林 義明